

9
月号
September

月刊

四万十町

地域おこし協力隊だより

Community-Reactivating Cooperator Squad

協力隊の色とりどりの活動をお伝えします。

松本 優希

Yuki matsumoto

窪川（本庁） 商店街を中心とした市街地の活性化に向けた取り組み

大好きな高知県で協力隊活動開始

現在主に、先日オープンした古書街道第1店舗目を運営している「しまんと街おこし応援団」の皆さん、そして美馬旅館さんから、窪川市街地のことを楽しく学ぶ毎日を過ごしています。

私は地元四万十町へUターンを決めたきっかけは、1年前にあります。私は中学卒業後、高知市内、県外と過ごしてきましたが、毎年必ず連休になると帰省し四万十町と縁が切れることはありませんでした。そんな中で、夏の帰省の際には必ず足を運んでいた夏祭りを「さらに盛り上げることはできないのだろうか」と漠然と思うようになり、こちらの任務に応募しました。

私が地元四万十町へUターンを決めたきっかけは、1年前にあります。私は中学卒業後、高知市内、県外と過ごしてきましたが、毎年必ず連休になると帰省し四万十町と縁が切れることはありませんでした。そんな中で、夏の帰省の際には必ず足を運んでいた夏祭りを「さらに盛り上げることはできないのだろうか」と漠然と思うようになり、こちらの任務に応募しました。

街おこし応援団の方との視察風景



活動の中で、商店街の皆さんが「地域のことは地域で守る」と背中を語ってくれているかのように、率先して周辺の草刈りや木の剪定などをされていることに感謝を受けました。

今年はコロナウィルスの影響で楽しみにしていた町内イベントが中止や延期になりとても残念ですが、状況が落ち着いたら、皆さんに楽しんでいただけるようなイベントを開催したいと思っていますので楽しみにしてください！地域の皆さんの意見を聞きながら、私も地域の中に溶け込めるよう元気に活動していきますので、どうぞよろしくお願いします。



窪川駅で出張お土産処

窪川（本庁） 四万十町の特産品を使った商品開発 憧れの田舎暮らしを四万十町で

山田 佳苗

Kanae Yamada



初

めまして、今年の6月より「四万十町の特産品を使った商品開発」の任務で協力隊に就任しました山田です。

私は、地元京都で洋菓子店とカフェに約4年勤めておりました。昔からお菓子が大好きで、転職を考えた時もやはりお菓子に関わる仕事がしたいと思っていたところ、偶然に四万十町の地域おこし協力隊の募集を見つけました。

地域と幅広く関わり楽しそうに活動されている協力隊の先輩方と、雄大な自然がある四万十町に惹かれ、自分が昔から田舎での暮らしをしたいと強く思っていたこともあり、協力隊に応募しました。



秋の新商品の試作中

現在、道の駅あぐり窪川のみるく工房で四万十町の特産品を使った新商品開発や、食品衛生の知識を学んでいます。これから活動を通して、地元農家さんの食材を使い、四万十町の良さを伝えられるお菓子やスイーツを開発したいと思っています。

四万十町には、有機栽培や無農薬にこだわった農産品がたくさんあります。そんな場所だからこその、オーガニックで地域の「美味しい」が詰まったお菓子を作っていきたいと考えています。まずは地域のことを知るために、色々な場所に行き、美味しいものを食べ、地域の方とお話をしたり、楽しい毎日を過ごしたいです。これからもよろしくをお願いします。



窪川高校の生徒と共同開発した抹茶パフェ



水野 杏美
Ami Mizuno

📍 大正地域振興局 🏠 大正商店街のにぎわいづくり

四万十町の人・もの・文化にもっと触れたくて・・・

また、小さい頃からの「自然の中で過ごしたい」という夢が忘れられなかったこともあり、移住を決意しました。

そして、面白さを感じるほどに、「地域の中に入って地域の文化に触れたい」という思いが大きくなっていきました。

私 は神奈川県川崎市から移住してきました。以前は幼稚園教諭として働いていました。幼稚園では、「太鼓」や「七頭舞（ななづまい）」「荒馬踊り（あらうまおどり）」などの伝統文化に触れる機会があり、子どもと一緒に取り組むなかで、歴史やそこに住む人の思いなども含めた文化が、人から人へと受け継がれていくことの面白さを感じることができました。

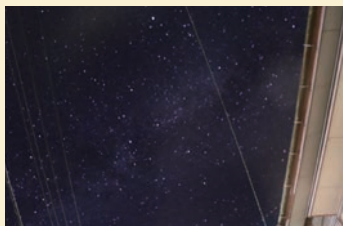
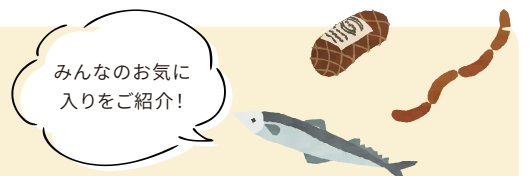


「どこに？」と考えた時、真っ先に浮かんだのが四万十町でした。以前旅行で訪れた際に、溢れる自然に触れ、「ここに住んでみたい！」と感じていたからです。また、旅行中に食べた鮎がすごく美味しかったことも、四万十町が忘れられなかった理由の一つです。

着任して日が浅いですが、鳥や虫のさえずりで朝目覚めること、近くに住む方々が「おはよう」や「元気にやってるか？」と優しい声をかけて下さること、食べ物美味しいこと...など、毎日色々なことに感動しながら過ごしています。町の中を歩き、お話を聞きながら、地域の方々と一緒にこれから考えられたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。



四万十町の ココがスキ！



家から見える星空

四万十町の星空は、星が無数に広がっていてとっても綺麗で日々癒されています。これは、私の家の前で撮った写真です。これから季節ごとの星空を楽しみたいと思います。（水野杏美）



カゴノオト

一年かけて素材を集めて作られるこだわりのあるシュトーレンは私も食べてみたい逸品です。他にも、クッキーやタルトなどの丁寧できれいな焼き菓子は贈り物にピッタリです。（山田佳苗）



四万十町の自然

都会では味わうことのできない、自然満喫感が大好き！川遊びをして、魚をその場で食べることができ、BBQ もできる。その場所でやりたいことがすぐ叶えられるところが四万十町の最大の魅力です。（松本優希）

編集後記

日中はまだまだ暑い日が続いていますが、少しずつ秋の気配を感じる四万十町。実りの秋も近いぞ〜！ということで今回のタイトルは、夏の青空をバックに頭を垂らす稲穂の写真を選びました。

さて、コロナが猛威を振るい始めて半年が経とうとしています。オンライン会議が普通になりつつあったり、リモート（遠隔）でできる物事の範囲や可能性がぐっと広がったなあ。というのが一番の感想です。とはいえやはり、オンラインでは補えない人と人との関りの大切さも再確認できました。

コロナを横目に畑や田んぼの作物はすくすくと育っています。私もそんな姿を見習って、世の中がどんな状況であっても環境に適應する強さとしなやかさを持っていたいと思いました。（編集：吉岡亜紀）



四万十町地域おこし協力隊の活動は
ホームページ、SNSにて発信中！

協力隊公式HP



窪川

Facebook



大正



十和

Instagram



四万十町では現在**21**名の協力隊が活躍しています。

協力隊へのご連絡はこちらまで



四万十町役場 にぎわい創出課

四万十町 琴平町16番17号（西庁舎2F）

Mail: 103050@town.shimanto.lg.jp Tel: 0880-22-3281